

サーフボード

目次

I.	概要	．．．．．	2
II.	商品知識		
	1.サーフボードとは	．．．．．	3
	2.サーフボードの各部名称	．．．．．	3-5
	3.サーフボードの種類	．．．．．	6
	4.ウェットスーツの種類	．．．．．	7

更新履歴

更新日付	更新内容	担当部署	担当者
2026/1/5	新規作成	店舗運営本部	S.Maniwa

I. 概要

①新品市場

サーフボードの新品市場は、世界的には市場規模は約26億～30億米ドル（約3700億円～4300億円）と評価され、世界的に見ると緩やかな成長が見込まれていますが、日本の市場は参加人口の減少に伴い縮小傾向にあります。1990年代のブーム期から半減以下（約40万人）となり、若年層の新規参入が少ないことが原因となっています。

新品サーフボードの価格は、ボードの種類（ショートボード、ロングボード、ファンボードなど）、素材（PU、EPS、ソフトボードなど）、ブランド、ハンドシェイプかマシンシェイプかによって大きく異なります。インフレや原材料価格の変動により、新品サーフボードの価格は全体的に高騰しています。

②持続可能性と環境意識

環境に配慮した素材・製造プロセスで作られた、持続可能なサーフボード製品への需要が高まっています。環境負荷を軽減するための新しい素材として、カーボン素材やフィルオ素材などを使用したボードも開発されており、市場シェアを拡大しています。

③安全性の見極め

傷やひび割れ(クラック)がある場合は、傷口を爪で軽くこすって爪が引っかかるようであれば、そこから浸水する可能性が高いです。また、ボードを押すとベコベコする感触がある場合は、内部のフォームと表面のコーティングが剥がれている(剥離)の可能性があります。他にも、過去にボードが折れた、複数の修理の跡が見られるものは強度が落ちている可能性があります。安全に使用できるかよく確認しましょう。

◇ポイント 季節商品として

一般的にサーフィンのオンシーズンである夏(5月～10月)の直前にあたる春先(3月～5月頃)に需要が高まります。売場展開のタイミングは地域や店舗規模によって変わりますが、それまで保管する期間やそのスペース確保も含めての戦術が必要です。年間のシーズンを通して計画することが重要な視点になります。

II. 商品知識

1.サーフボードとは

サーフボードはサーフィンを楽しむために最も重要なアイテムで、サーファーが波に乗り、滑走するために設計された細長い浮力のある板です。
形状や素材によって様々な特徴があります。

2.サーフボードの各部名称



デッキ

サーフボードの表面のことで、パドルをしたり、立ったりする部分です。
滑らないようにワックスを塗ったり、滑り止めシートやデッキパッドを貼ったりします。

ボトム

サーフボードの裏面のことで、海面に接する部分です。
ボトムの形状はボードの速度や操作性に大きく影響します。

レール

サーフボードの両サイドの側面、エッジの部分です。

レールを水面に入れたり出したりする抵抗や反発でターンをすることができ、レールが厚いと抵抗が上がってスピードが出やすく、レールが薄いとスピードは出にくいですがターンが行いやすくなります。

レールは大きく3種類に分けられます。

ボキシー

レールが厚いため、浮力が高いです。

加速性に優れていますが、レールを水面に入れづらくターンが行いにくくなります。厚い波をクルージング(波の斜面をゆったりと滑走)するのに向いています。



テーパー(ロー)

レールが薄いため、浮力が低くなります。

レールを水面に深く入れることができ、ターンは行いやすい一方加速性に劣ります。



ミディアム(ソフト)

ボキシーとテーパーの中間で、一般的なレールの形状となっています。



ノーズ

サーフボードの先端部分です。

ノーズの形状は波の捉えやすさやパドリングの安定性に影響します。ノーズは基本的に尖っていますが、逆に幅があり丸みをもたせるほど安定感が増します。

テール

サーフボードの後端部分です。

テールの形状はターンの鋭さや波から受ける抵抗に影響します。

スカッシュテール

ショートボードに多く採用されています。

素早いターンや加速のついた大きなターンを行うことができます。

アグレッシブな動きに対応している形状です。



スワローテール

小波用のサーフボードに採用されています。

幅の広いボードでも旋回性を失わず、素早いターンを行えるように水の抵抗を抑えた作りになっています。



ラウンドテール

スカッシュテールの比べ、ターン時のコントロールがスムーズに行えます。

小さな波でも比較的回転しやすい形状のものです。



ピンテール

ビクウェーブ用のボードに多く採用されています。

水の抵抗が少なく、直進性に優れ、斜面が急な波に適しています。



ロッカー

ロッカーはノーズからテールまでのボードのカーブ(反り)のことです。
ロッカーのカーブが強いとターン性能は上がりますが、スピード性能は劣るためパワフルな波に向いています。
ロッカーのカーブが直線だとスピード性能は上がりますが、ターン性能は劣るため小波に向いています。

フィン

フィンとはボトム後部に取り付けられたイルカの背ビレのような部分です。
フィンはボードの進む方向を安定させる役割があり、大きさや枚数によって特性が変わってきます。
取り外しができないフィンは「グラスオンフィン」、取り外しができるフィンは「FCS(フィンコントロールシステム)」「フューチャーフィン」といいます。

シングルフィン

センターフィンが1枚付いているタイプでロングボードによくみられます。
直進するのに安定性があります。

ツインフィン

サイドにフィンが2枚付いているタイプです。
回転性に優れ、クイックなターンを行えます。
センターフィンが無いいため、直進の安定性はありません。

トライフィン

センターとサイドフィンの3枚付いているタイプでショートボードによくみられます。
直進安定性と回転性を持っています。

クワッドフィン

サイドにフィンが4枚付いているタイプです。
細かなターンが行いやすく、横に走る加速性にも優れています。
厚い波にもスピードをつけてターンすることができます。

ファイブフィン

トライフィンとクワッドフィンの両方をセットできるタイプです。



△ポイント

サーフボードは各部に重要な役割・特徴があり、ボードの見分けをする上で役立ちます。

3.サーフボードの種類

サーフボードは発砲ウレタンで作られており、中心にはストリンガーという木製の補強材が挟まれていて板が折れないように防ぐ役割を持っています。また、板の周り全体にガラスクロス(ガラス繊維で編まれた布)で包んであり、その上から樹脂で固めることで強度を保つ作られ方をしています。様々な種類があり、それぞれに合った波の条件やサーフィンスタイルがあります。主な種類は4つです。

①ショートボード

長さが通常6～7フィート(約180～210cm)の比較的短いボードです。
軽量で機動性が高く、鋭いターンや素早い動きに適しているのが特徴です。
中型から大型の波、パワーのある波に適しています。
中級者から上級者向けで、体力があり技術的なサーフィンを楽しみたい方におすすめです。

②ロングボード

長さが通常9フィート(約270cm)以上のボードです。
安定性が高く、波を捉えやすいのが特徴です。
小波から中型の波に適しています。
初心者から上級者まで、ゆったりとサーフィンをしたい方におすすめです。
ノーズライディング(サーフボードの先端からボード全体の1/3より前のポジションに立つこと)などのライディングスタイルを楽しめます。

③ミッドレングス

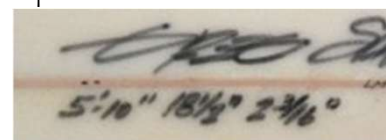
長さが通常7～8フィート(約210～240cm)のボードで、ショートボードとロングボードの中間的な特性を持ちます。
ショートボードの機動性とロングボードの安定性のバランスがとれており、様々な波の条件に対応できるのが特徴です。
小波から中型の波まで、波のサイズや形状に応じて柔軟に対応できます。
初心者から中級者に特に適していますが、経験豊富な方も楽しめます。ロングボードからショートボードへの移行を考えている方、オールラウンドな性能を求める方におすすめです。

④ソフトボード

表面が柔らかい素材で覆われたボードで、ショートボードタイプからロングボードタイプまで長さは様々です。
安全性が高く、衝突時のダメージが少ないこと、通常のボードよりも浮力が高いことが特徴です。
主に小波から中型の波に適しています。
初心者や子供、安全性を重視する方におすすめで、経験者でも小波用のボードとして使用することもあります。

△ポイント

サーフボードのサイズはボトムのストリンガー付近に「長さ(Length)×幅(Width)×厚み(Thickness)」の順で記載されています。フィート、インチで表記されているのが一般的です。
1インチ=2.54cm 1フィート=30.48cm 12インチ=1フィート
表記例： 5'10" = 5フィート10インチ = 177.8cm



4. ウェットスーツの種類

サーフィンにはウェットスーツが必要不可欠です。

保温・体温維持、紫外線・クラゲ対策、岩やボードからの保護、浮力補助など多くの役割を果たします。

クロロプレンゴム製の生地からでき、厚みは2～7mm前後で身体に密着するようにできています。

厚いものほど保温性に優れていますが、運動性は落ち、浮力は上がります。

ゴム製になりますので、日当たりがよい場所に展示すると劣化(ヒビ割れ)に繋がります。

展示は日の当たらないところにしましょう。

①ドライスーツ

真冬用のスーツで海水が入ってこないように作られています。

②セミドライ

多少の海水は侵入するが、それが膜となり保温に優れています。

防水ファスナーが取り付けられており、生地の裏地が保温性のある特殊加工が施されています。

最近のモデルは背中にファスナーのついていないもの、裏地にフリース素材を使用しているものが増えています。

③フルスーツ(ジャージフルスーツ)

春～初夏、秋～初冬にかけて使用するスーツです。

厚さは5mm、3mm、2mmなどがあります

厚さによって保温性・運動性が変わってきます。

④シーガル

半袖、長ズボンタイプのウェットスーツです。

晩春～夏にかけて使用します。

このタイプが年間を通じて一番使用するモデルで厚さは3mm、2mmがあります。

⑤ショートジョン

タンクトップ、短パンの形状で夏専用モデルといってもよいスーツです。



△ポイント

水温や季節に合わせて素材やタイプを選びます。

テニス

目次

1.	概要	．．．．．	2
2.	商品知識		
	2-1.テニスに必要な道具	．．．．．	3
	2-2.硬式と軟式の道具	．．．．．	4-5
	2-3.ラケットの種類と名称	．．．．．	6-7
	2-4.テニスシューズの種類と名称	．．．．．	8
	2-5.押さえておきたいブランド	．．．．．	9

更新履歴

更新日付	更新内容	担当部署	担当者
2026/1/5	新規作成	店舗運営本部	S.Maniwa
2026/3/9	更新	直営店舗運営部	T.Sayama

1. 概要

①新品市場

日本のテニス用品市場（ラケット、シューズ、ウェア等）は、約12億～13億円規模で成長傾向にあり、さらに拡大すると予測されています。

ウェア：市場全体の約43%を占め、最大のセグメントです。

ラケット：約32%のシェアを持ち、収益性の高い中核カテゴリーです。

シューズ：約14%を占めています。

②硬式・軟式の市場特性

硬式市場

グローバル展開するメーカー（Wilson, HEAD, ASICSなど）が主導し、高価格帯のラケットや高機能シューズが市場を牽引しています。

軟式市場

日本・韓国・台湾を中心とした地域特有の市場ですが、低コストな用具や地域スポーツプログラムへの支援が成長の原動力となっています。

③競技人口

日本国内におけるプレイヤー数は、硬式が軟式を大幅に上回る構造となっています。

ただし、学生層に限れば軟式が優勢です。

全体：硬式優勢

硬式のテニス人口が約343万人であるのに対し、軟式は約54万人（登録競技者ベースでは約50万人）とされています。

中高生：軟式優勢

中学・高校の部活動人口では、軟式が約40万人、硬式が約15万人と、軟式が硬式の約2.6倍の規模を持っています。

ポイント

硬式と軟式では使用するラケットやボールも変わってきます。

正しくお客様にご案内できるように、見分け方を覚えておきましょう。

2. 商品知識

2-1. テニスに必要な道具

① ラケット

硬式用と軟式用のラケットがあります。



硬式ラケット



軟式ラケット



参考：バドミントンラケット

② テニスシューズ

ハードコート用、オムニ＆クレーコート用、カーペットコート用以上の3種類があります。テニスコートのサーフェス(表面の素材)により分類されているため、硬式・軟式の区別はありません。



③ ボール

硬式用と軟式用ボールがあります。

2-2.硬式と軟式の道具

テニスには硬式、軟式の二種類の競技があります。

一般的にテニスと言うと硬式テニスを指します。硬式、軟式テニスの違いは使用するボール、ラケット、ルールです。軟式テニスは日本で独自に派生したテニスなので海外ではほとんど知名度がありません。部活動では硬式よりも軟式のほうが多いため、部活動で使うラケットをお探しで来られた場合は硬式か軟式か確認して商品のご案内をしないと誤って違う種類をご案内してしまうため注意しましょう。



①面の広さ

軟式より硬式の方が面が広い。
約85平方インチ～約120平方インチまでと幅広い。デカラケも存在する。

②グリップ

軟式より硬式のほうが長い。太さもサイズがあり日本国内では「2」と「3」が圧倒的に多い。

③いちょう

面の下からグリップの部分で硬式に比べ軟式の方が長くなっている。

④日本ソフトテニス連盟公認マーク

軟式テニスのみについているマーク。
最も見分けやすい目印である。
マークが無い軟式ラケットもあるので注意が必要。



硬式用ボール



「プレッシャーボール」と「ノンプレッシャーボール」の2種類に分けることができます。どちらも後から空気の補充は出来ません。空気調整ができないため、**開封されているものは買い取り不可。**空気圧を維持するために、ボトル型のパッケージに入っているのがプレッシャーボール。定期的な買い替えが必要。ビニールケースなどに入れて販売されているのがノンプレッシャーボール。耐久性やコスト面に優れている。

軟式用ボール



白色や黄色などのゴム素材で作られた、中空で非常に軽量（30～31g）かつ柔らかいボール。
表面にフェルトは無く、高い反発力と回転がかかりやすい。
ソフトテニスで使用され、使用前に空気圧の調整が必要。

その他の小物



ラケットバッグ

ラケット、シューズ、ウェア、タオルなどの用具を一式まとめて持ち運ぶための専用バッグ。1本から15本以上収納できるものまで種類が豊富。衝撃保護機能や、内部の温度上昇を防ぐ機能を持つものもある。



振動止め

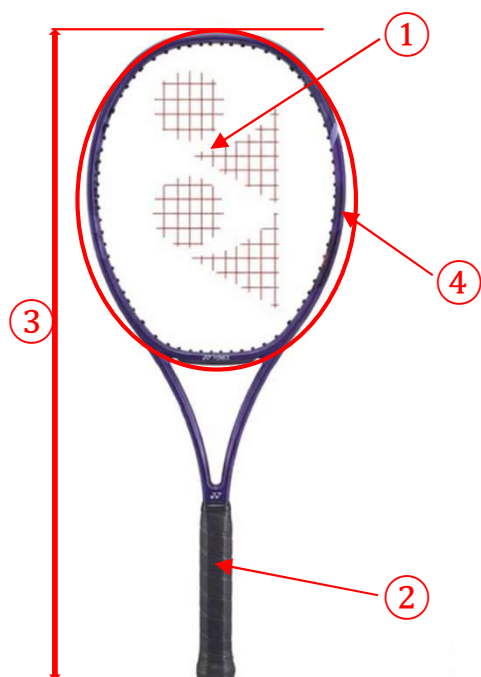
フレームの最下部（ガットの交差していないエリア）に装着し、打球時の手に伝わる不快な振動を軽減・除去するアイテムです。衝撃吸収による肘や手首の負担軽減や、クリアな打球音、柔らかな打球感への調整が主な目的です。

ポイント

軟式テニスと硬式テニスでは道具はもちろんプレーでも大きな違いがあります。ボールを打つ際の衝撃が大きく異なるため、硬式テニスのラケットは頑丈になっています。軟式テニス用ラケットを硬式テニスで使うなど、適さない道具を使うと、正しいプレーができないだけでなくケガにつながる恐れもあります。

2-3.テニスラケットの種類と名称

【硬式ラケット】



①ラケットの面(フェイス)

硬式テニスのラケットのフェイス（面）の大きさは、一般的に90～120平方インチの範囲で販売されています。主流は100平方インチ前後の「ミッドプラス」と呼ばれるサイズで、パワーと操作性のバランスが良いのが特徴です。初心者には98～110平方インチ、上級者は95平方インチ以下の小さな面を好む傾向があります

初心者・女性・ジュニア: 105～110平方インチの大きな面がおすすめ。ボールが飛びやすく、ミスが少ない。

中級者・オールラウンダー: 100平方インチが基準のサイズ。操作性、パワー、安定性のバランスが良い。

ハードヒッター・上級者: 95～98平方インチ
芯を外すと飛ばないが、芯で捉えた時の打感が良く、コントロール性が非常に高い。

②グリップ

最初から巻かれている地グリップの上にさらにグリップテープを巻いて使うのが一般的です。

地グリップのサイズは1～8まで。

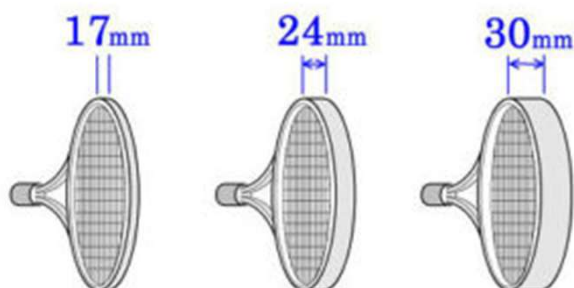
日本国内では大半が「2」か「3」です。



日本表記 ※0.32cmずつ 長くなる	G1 (10.5cm)	G2 (10.8cm)	G3 (11.1cm)	G4 (11.4cm)
海外表記 ※1/8インチずつ 長くなる	4 1/8	4 1/4 (1/8+1/8=1/4)	4 3/8	4 1/2 (3/8+1/8=1/2)

③全長

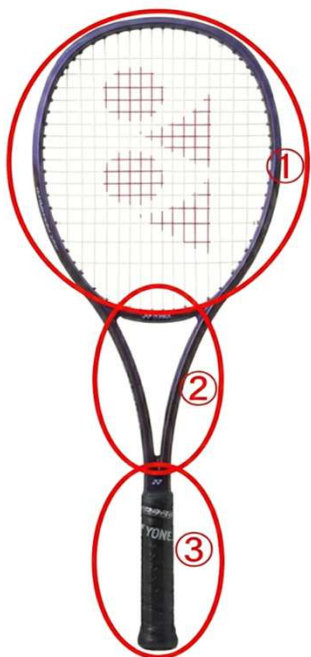
27インチ（約68.6cm）が主流です。ルール上は最大29インチ（73.7cm）まで認められていますが、競技用は27～27.5インチ程度が一般的です。ジュニア用は身長に合わせて21～26インチのモデルがあります。



④フレーム

17mm～30mm程度で、一般的に24～26mmが標準（黄金スペック）です。厚い（26mm以上）と反発力が高く楽に飛び、薄い（22mm以下）とコントロール性能や振り抜きが良くなります。初心者やパワー不足を感じる方は厚め、スイングスピードが速い上級者は薄めを選ぶのが目安です。

【軟式ラケット】



①ラケットのフェイス

主に80～100平方インチの範囲で設計されており面積によって「ボールが飛びやすい・安定性（大）」「操作性・コントロール（小）」が決まります。

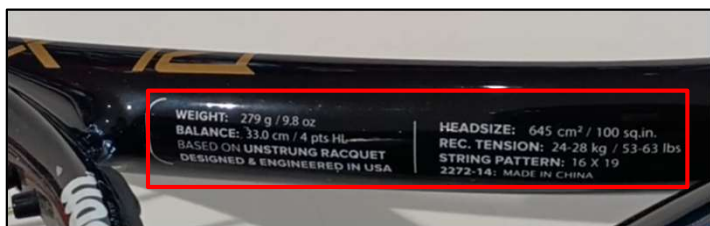
初心者や前衛は大きめ（95-100in²）、後衛は操作性重視で小さめを選ぶ傾向にあります。

②シャフト(いちょう)

硬式のラケットより長く、日本ソフトテニス連盟の公認マークが入っている。二股に分かれていない1本シャフトのラケットは2015年～16年より市場からなくなっている。

③グリップ

00・0・1・2（数字が小さいほど細い）の4種類が一般的です。目安として、手の小さい女性やジュニアは00～1、一般的な男性は1～2を選ぶのが最適です。グリップテープの巻き直しで多少の微調整も可能です。



<プライスカード記載事項>

- ・ブランド名とモデル名
- ・グリップサイズ
- ・面の大きさ(フェイスサイズ)
- ・重さ

※フェイスサイズ(HEADSIZE)や重さなどはシャフトの内側などに記載されています

ポイント

テニスラケットは、硬式用は重く頑丈で高反発、軟式用は軽くしなやかなのが特徴で、使うボール（硬式：革製、軟式：ゴム製）と衝撃の大きさ、打球感、グリップの形状、ストリング（ガット）の張り方が根本的に異なります。硬式はボールの衝撃に耐えるため剛性・重量重視、軟式は操作性重視で、初心者なら硬式は厚ラケ、軟式は軽量モデルがおすすめです。

中上級者モデルは生産の際にガットを切断することをおすすめします。

テンション低下やフレームの歪みに繋がります。

初心者モデルもガットが切れている場合は切断が必要です。

※ガット切断方法はインターナル「【商品マニュアル】テニス 4.生産 ガットの外し方」を参照

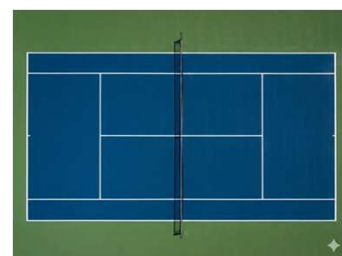
<https://drive.google.com/file/d/1SByDsK4t1VS7jxz83wE-z6cbvR1oWkK/view?usp=sharing>

2-4.テニスシューズの種類と名称

各コートの素材や特性に合わせたソール(靴の裏)になっています。
靴の側面やソール、箱にコートの種類が表記されています。

オールコート(AC)用

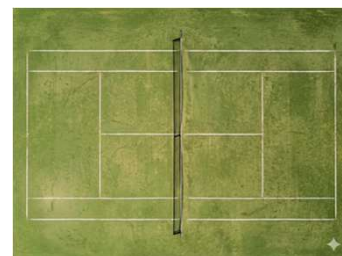
ソール(靴底)がきめ細かい凹凸でできていて、文字どおりすべてのコートに対応したシューズです。ハードコートではこれを履くことが多い。クレイやオムニでもほどほどに安定感を発揮する。



オムニ&クレイコート(OC/GC)用

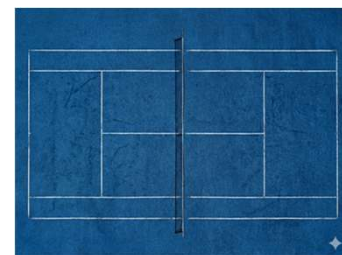
地表が砂っぽいコート向けです。ソールの凹凸の内側がやや大きめ、外側がやや細かめになっており、土や砂がもたらす余計な滑りを抑制してくれます。メーカーのデザインの品揃えも豊富なので足もとのおしゃれも楽しめます。

クレイコートは土や砂(主に赤土)でできた天然のコートで、ボールは遅く弾み、足元は滑りやすいですが、体への負担が少ないのが特徴です(例:全仏オープン)。一方、オムニコートは砂入り人工芝で、水はけが良く、雨後でもプレーしやすく、クレイコートより球足は速いものの、ハードコートよりは遅いという中間的な特性を持ち、日本で最も普及しています。



カーペットコート(CC)用

主に室内向けです。溝がほとんどなく、つるつるした印象のソールで、カーペットにつまづきにくい構造になっています。サーフェスのきれいなハードコートでも地面をしっかりグリップしてくれます。



ポイント

シューズはテニスコートの表面素材(サーフェス)に合わせて選ぶ必要があり、間違ったシューズは怪我やコート破損の原因になります。

日本ではオールコート用とオムニ・クレイコート用が主流で、国内のテニススクールや公園のコートではオムニコートやハードコートが多くなっています。

2-5.おさえておきたいブランド

主に世界で使われているブランドを紹介したいと思います。

	YONEX ヨネックス	日本	元々は木製品会社。初期はバドミントンラケットを作成しており、後にテニスラケットも作るように。
	Wilson ウィルソン	アメリカ	シェアNo.1メーカーで1913年創業の老舗。精肉業として創業し、精肉の際に出る皮やスジを再利用する形でスポーツ用品の製造を始めた。
	prince プリンス	アメリカ	1970年にテニス・ボール・マシンのメーカーとして創業。ストリング面が110平方インチのデカラケを作成。
	Babolat バボラ	フランス	ラケットスポーツ用品の専門会社として最も歴史が古く、1874年に現代のテニスの基礎が確立されてから、ストリングの発明などテニスの発展に大きく貢献している。
	DUNLOP ダンロップ	日本	ボール製造から始まったメーカー。英国ダンロップ社が1917年に日本で創業。
	HEAD ヘッド	オーストリア (創業時はアメリカ)	1950年にアメリカでスキーブランドとして創業され、現在はオーストリアに本社を置く企業。
	Volkl フォルクル	ドイツ	1880年創業。90年以上の歴史を持つスキー界の老舗ブランド。ラケット作りを始めたのは1972年から。
	MIZUNO ミズノ	日本	1906年大阪で創業。 日本の総合スポーツ用品メーカー。
	FISCHER フィッシャー	オーストリア	1924年創業。元々はスキー用品メーカー。

ポイント

世界的にシェアの高いブランドから国内で馴染みの深いブランドまで、それぞれの「ルーツ」を知っておくとお客様との会話のきっかけや商品説明に役立ちます。

野球・ソフトボール

目次

1.	概要		2
2.	商品知識		
	2-1.野球・ソフトボールとは		3
	2-2.ユニフォームの着こなし		4
	2-3.道具の種類と名称		5-10
	2-4.代表的なメーカー		11-12

更新履歴

更新日付	更新内容	担当部署	担当者
2026/1/8	新規作成	店舗運営本部	S.Maniwa
2026/3/9	更新	直営店舗運営部	T.Sayama

1. 概要

①新品市場

日本のプロ野球 (NPB)市場規模は推定で約 2,000億円～3,000億円前後で推移しており、全体のスポーツ市場規模は約 1.7兆円でスポーツの中でもトップを争うほどの人気です。

メジャーリーグベースボール (MLB)の人気も高く、世界的には今後も成長が見込まれるスポーツです。

野球用品に関しては、国内市場規模は約 750億円程度でミズノが圧倒的なシェアを誇りますが、ナイキやアディダスなどのグローバルブランドも存在感を放ち、競争が激しい状態です。

少子化の影響による野球人口減少が課題となっている一方で、女子野球の登録者数は増加にあることで女子専用設計の用品市場が注目されています。

②グローバル化

国内市場の飽和に伴って、アジアを中心に海外市場へ販路を拡大させています。

日本の野球用品はその精密な製造技術と品質で知られており、プロ・アマチュア問わず高い評価を受けています。高品質な製品と高度な製造技術を強みに、世界市場で存在感を高めています。

製品ラインの拡大、流通ネットワークの改善、研究開発への投資などを通じて、グローバル市場での競争力をさらに強化していくと見られています。

ポイント

野球の発祥国であるアメリカが主要な市場となっており、日本もアメリカに次ぐ市場規模で 2か国が圧倒的なシェアを誇ります。

日本の品質の高さや技術力は世界的にも評価されています。

2. 商品知識

2-1. 野球とソフトボールの違い

野球は、集団球技の一つで英語のベースボールを指します。
ちなみに『野球』という言葉は明治期に日本で作られた和製漢語です。
2つのチームが攻撃と守備を繰り返して勝敗を競う競技です。

野球

1ゲーム: 9イニング
投法: ルールなし
塁間の距離: 27.43m
ホームベースからプレートまでの距離
18.44m
ホームベースから外野フェンス
121.9m以上
ボールの大きさ: 22.9cm～23.5cm(硬式)
野球盗塁のルール
塁上でリードを取り、盗塁などの駆け引きが可能

ソフトボール

1ゲーム: 7イニング
投法: アンダースロー
塁間の距離: 18.29m
ホームベースからプレートまでの距離
13.11～14.02m
ホームベースから外野フェンス
67.06～76.20m以上
ボールの大きさ: 30.2cm～30.8cm
マウンドがない
ソフトボール盗塁のルール
塁上のランナーはピッチャーが投球するまでベースを離れてはいけない
塁間距離が短いため、リードは禁止
延長戦は「タイブレーク制度」でノーアウトランナー 2塁からスタート

ポイント

野球に比べてソフトボールは狭い場所で楽しむスポーツとして考案され、塁間の短さから、守備の反応や盗塁の駆け引きに大きな違いがあります

2-2.ユニフォームの着こなし

①帽子

炎天下の中、何時間も試合をしますので必要です。

②ユニフォーム上下

チームの顔ともいえるものです。

③アンダーシャツ

ユニフォームの下に着るものです。

イメージとしてはTシャツと同じと考えてください。

長袖・半袖・七分袖とあります。

最近ではピッタリフィットするものがメインで、昔は袖と色違いが多いです。

④ソックス

ひざ下ぐらいまでの長さがあり、厚い生地で作られています。

⑤ストッキング

ソックスの上に身につけるものです。

⑥スライディングパンツ

イメージとしては少し丈が長めのボクサータイプのパンツのお尻からモモにかけて生地が厚くなっている物と思って下さい。すべった時にクッションのかわりになる様です。



※ポイント

プロ野球のレプリカユニフォーム以外は買い取りが難しいです。

アンダーシャツ等は未使用品のみ買い取りしましょう。

チーム、選手名・背番号の有無、刺繍の有無によって価格が異なり、背番号なしやシンプルなデザインの方が安価になる傾向があります

2-3.道具の種類と名前

①ボール

硬式球

コルクやゴムの芯に糸を巻き付け、それを牛革で縫い合わせたもの。

ちなみに縫い目は108個で、当たると骨折等のケガをすることがあります。



軟式球

素材はゴム製でボールの真ん中に号数を書いてあります。

16年12月からボールの新規格が変更。

これまでA号(一般)、B号(中学生)

C号(小学生)

と分かれていた区分が、M号(中学生・一般)と

J号(小学生)に変更される



ソフトボール

野球のボールと違い大きく、周囲が30.5cmが一般用です。



②グローブ

野球のグローブは、ポジションによって用途が異なってくるため形が違います。
大きく分けると、グローブ・キャッチャーミット・ファーストミットの 3つに分けられます。
近年は、投手用・セカンド用・ショート用・サード用・外野手用など各ポジション毎に細分化されています

オールラウンド用グローブ

内野と外野など複数のポジションを 1つのグラブでこなせる、主に初心者やポジション未定のプレイヤー向けに設計されたグラブ



キャッチャーミット

高速投球を確実に捕球し、手を保護するために設計された専用の厚手で円形のグラブ
指の分かれ目がなく、親指と小指が独立した強固な設計で、球を受け止めることに特化



ファーストグローブ

送球を確実に捕球するため、他のポジションよりも大きく設計されており、悪送球やバウンドのイレギュラーな打球もしっかりキャッチできる高い安定性が特徴



内野手用グローブ

軽量・小型で操作性に優れたグラブ。

セカンド・ショート用は特に小さく、サード用は少し深めの傾向があります



外野手用グローブ

他のポジションより大きく(12～13インチ以上)、ポケットが深い設計のグラブです。飛球を落とさずホールドする能力を最優先しており、強い打球に対応するため芯がしっかりしているのが特徴



投手用グローブ

ボールの握りを隠すために隙間がないウェブ(網)が特徴で、軽量かつ硬めの設計が一般的です



ポイント

硬式用・軟式用の違い

革は一般的に硬式の方が軟式よりも厚さがあります。芯材においても同様で、硬式の方が打球に負けにくいようにと硬く強い芯材が使用されています

MIZUNOのみ型番にHが入っているものが硬式用。Rが入っているものは軟式用です。

③バット

金属バット・木製バットがあります。

その中で更に硬式用や軟式用、ソフトボール用などに分かります。

硬式用

長さは82cm～86cm位までが多く、重さは平均 900g以上です。

グリップの上に金属の場合は『硬式用』の表記があります。※ 1

軟式用

長さは80cm～85cm位までが多く、重さは平均 700g前後です。

グリップの上に金属の場合は「軟式用」の表記があります。※ 1

少年用

長さは64cm～79cm位までが多く、重さは平均 550g前後です。

グリップの上に金属の場合は「軟式少年用」や「硬式少年用」の表記があります。※ 1

ソフトボール用

長さは約84cmが平均で、重さは600g～700g台が多いです。

一番の特徴は形にあります。他のバットと違い、ヘッドからグリップにかけて細くなるのではなく、ヘッドからほぼ同じ幅でグリップ付近で急に細くなります。※ 2

トレーニング用

長さは84cmから長い物だと90cm以上の物もあります。

重さは1000g以上が平均で、ボールを打つことが出来る物と出来ない物があります。

ヘッド付近に「トレーニング (TRAINING) 」と書いてあります。※ 3

ウレタン・スポンジ素材のバット

打球部にウレタンやスポンジなどの弾性体が付いたバット

打球部に使われているウレタンなどの高反発素材が、ボールの変形を抑えつつエネルギーを効率的に「押し返す」ことで、トランポリン効果を生み出し、飛距離を大幅に向上させる



ポイント

バットの買い取り時に確認する方法

金属バットのへこみは買い取り不可です。中で折れている場合もあり、振るとカラカラ音がします。

こちらでも買い取りできません。木製バットは亀裂やヒビがあると買い取り不可となります。

2029年シーズンから学童(小学生)および少年(中学生)の公式戦において、ウレタン・スポンジ等の「弾性体」を打球部に搭載した複合型バット(通称:飛ぶバット)を全面的に使用禁止となります。

④スパイク

土の上でもしっかりと力が入るようにソールには歯がついています。
スパイクにはいくつか種類があります。

レギュラーカット (ノーマルカット)

くるぶしよりも下に履き口部がくるため、足首の操作性は良いです。



ハイカット

足首部全てが覆われている形状で、足首の保護には優れていますが可動域は狭くなります。

ミドルカット

レギュラーカットとハイカットの中間で、最近レギュラーカットからミドルカットに移行しつつあります。

<金具(歯)について>

歯が取り替えられるようになっているもの、ソールの部分全交換のもの、ポイントタイプのものがありますが、野球用の物がどれなのかわかっている程度で良いと思います。
あとは、歯の減り具合です。新品と比べて1/3ぐらい減っていると変え時です。



<P革について>

スパイクの先端に付いているものはP革というものです。
ピッチャーがつけるもので、右投げは右足、左投げは左足につけます。
ピッチャーは投げる時に足を擦る為、傷みが激しく、それを保護する役目もあります。
片方に付いていないからといって買取が出来ないなど言わないように注意して下さい。



ポイント

革の傷みやスパイクの歯の減り具合には注意が必要です。

⑤マスク・ヘルメット

怪我をしないように守るためのものです。

マスク・ヘルメット

⑥プロテクター

硬式は骨折する可能性がある球です。
それから身体を守るためのものです。

プロテクター

⑦レガース

こちらも同じく守るためのもので、ひざから下を守ります。

レガース



2-4.代表的なメーカー

各メーカーにはそれぞれ特色があります。

①大手メーカー

総合メーカー：

MIZUNOは市場を牽引する存在であり、国内では特に高い占有率を持つ。

グローブ・バット中心

Rawlings・Wilson・久保田スラッガー・ZETT・asicsが代表的。

ウエア・スパイク中心

Nike・adidas・UNDER ARMOUR・New balanceなど

②プロ御用達の野球専門メーカー

(ハタケヤマ、久保田スラッガー、ハイゴールド)

大量生産品とは異なり、職人技や独自の素材・技術にこだわった製品が多く
プロや熱心なアマチュア層から強い支持を受けています

メーカー	読み方	ロゴ	国
MIZUNO	ミズノ		日本
Rawlings	ローリングス		アメリカ
Wilson/DeMARINI	ウィルソン/ディマリニ		アメリカ
Slugger/久保田スラッガー	スラッガー		日本
UNDER ARMOUR	アンダーアーマー		アメリカ
ZETT	ゼット		日本
SSK	エスエスケイ		日本

※ポイント

用途やレベルに合わせて複数のグレード(シリーズ)が展開されています。

MIZUNOのグローブだと①ミズノプロ②グローバルエリート③セレクトナイン

この順番で素材や価格が変わっていきます。メーカー別やシリーズ別によって価格帯が大きく違います。

ゴルフ

目次

1.	概要	．．．．．	2
2.	商品知識		
	2-1.ゴルフに必要な道具	．．．．．	3-4
	2-2.ゴルフクラブの各部名称	．．．．．	5
	2-3.ゴルフクラブの種類	．．．．．	6-10
	2-4.代表的なメーカー	．．．．．	11

更新履歴

更新日付	更新内容	担当部署	担当者
2025/12/22	新規作成	店舗運営本部	S.Maniwa
2026/3/9	更新	直営店舗運営部	T.Sayama

1. 概要

①新品市場

日本国内のゴルフ市場は売上高ベースで約8,100億円に達し、増加傾向にあります。2025年8月の利用者数も前年比8.5%増を記録するなど、堅調な推移を見せています。ゴルフ用品の国内市場規模は約3,000億円で、新素材を採用したギアや新しい技術を取り入れたものなど最新トレンドが注目されています。市場を支えてきた団塊の世代が健康上の理由や運転免許返納により利用者減が懸念され、コロナ禍を契機に参入した若年層やビギナー層の定着が、市場の持続的な回復に向けた重要な鍵となっています。

②オフモール

ゴルフ用品のオンライン販売は市場全体としては微増傾向ですが、オンラインで購入する傾向は強まっています。店頭販売での苦戦を補う形となっています。

③インバウンド需要

世界規模でもゴルフ市場は成長傾向にあり、特に北米は最大市場となります。訪日外国人観光客によるゴルフ場利用や都市部の専門店を中心にゴルフ用品の購入が市場を下支えしています。

ポイント

ゴルフ市場の収益の大部分はゴルフクラブで、約38%を占めます。AIやセンサーを搭載したクラブなど、テクノロジーの進化に伴い新しい技術を取り入れたスマートなゴルフ用品も登場しています。

2. 商品知識

2-1. ゴルフに必要な道具

・ ゴルフクラブ



・ キャディバッグ

各メーカーからそれぞれ工夫を凝らしたモデルがラインナップされています。

カートバッグ

一般的に使用されているものでポケットが多く、収納力が高いものです。

プロモデルよりもポケットが多く、グローブやボール以外にも必要な物が収納できるのが特徴で、初心者向けや練習用に用いられることが多いです。

種類も豊富で価格帯もまちまちのため、4～5万円から安価な物では1万円切るものまであるため注意が必要です。



プロモデルタイプ

一般のカートタイプより大きく重さもあります。

その名の通りプロや上級者向けのバッグで初心者向けではありません。



スタンドバッグ

キャディバッグを立てるための自立型スタンドが装着されているバッグで、軽量であることも特徴です。

持ち運びやすいですが、スタンドの破損に注意が必要です。



サンデーバッグ

練習場などにゴルフクラブを数本持っていくための簡易バッグです。



ポイント

キャディバッグは見た目の大きさとは別に口径があります。クラブを入れる部分で、これによりレディース、メンズの違いやカートプロモデルかが分かります。基本的にはインチで〇〇型と表記するのが好ましいです。男性向けは一般的に8.5型、女性向けは一般的に8.0型とされています。口径の大きさは縦で測ります。



・ゴルフボール



・ゴルフシューズ



・距離系



・ティー



・グローブ



・フォーク&マーカー



2-2.ゴルフクラブの各部名称



①グリップ

ゴルフクラブを握りやすくするためにつけられた革やラバーのことやその握り部分

②シャフト

ゴルフクラブのヘッドとグリップをつないでいる柄

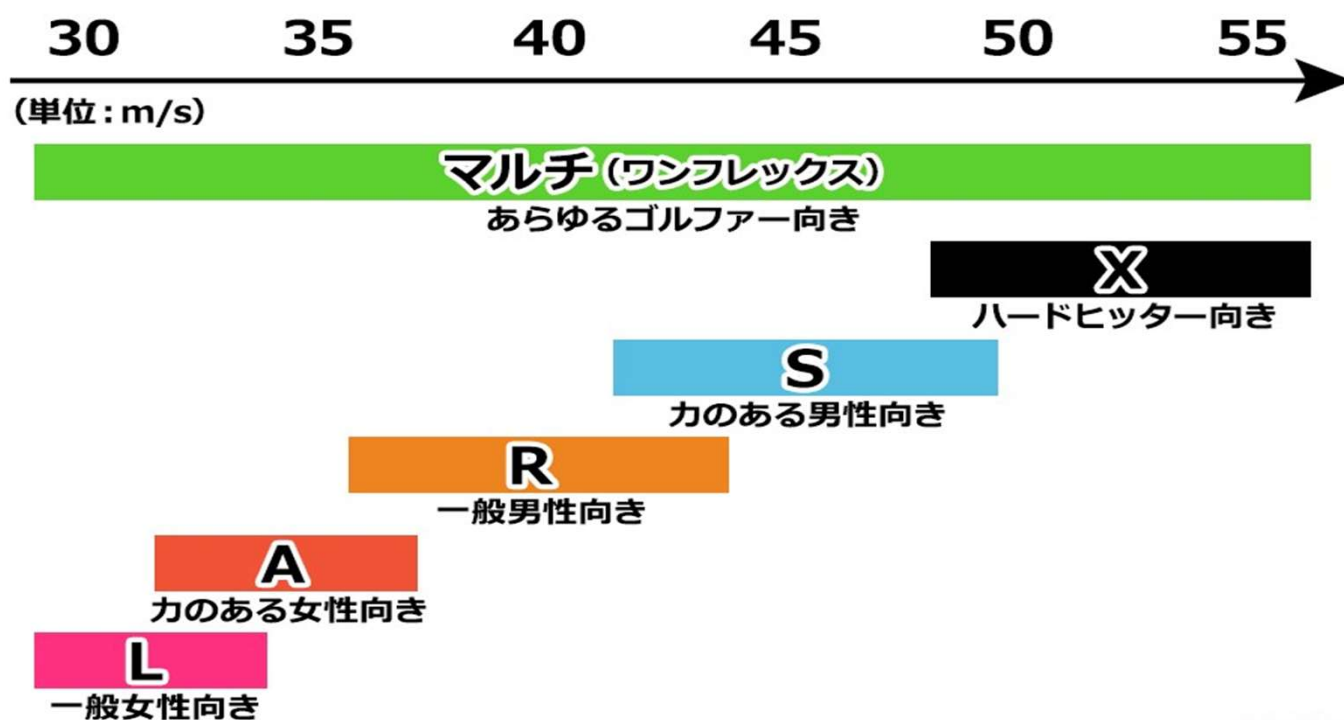
③ヘッド

ゴルフクラブの先端のボールを打つ部分

シャフトのフレックス

シャフトの硬さやしなり具合のこと

ヘッドスピード（振りの速さ）に合わせて選びます。速い人は硬め（S, X）、遅い人は柔らかめ（R, A, L）を選ぶことで、飛距離と方向性が安定します



※参考数値

2-3.ゴルフクラブの種類と名称

基本的にゴルフクラブの種類は大きく分けて6種類あります。



ドライバー



フェアウェイウッド



ユーティリティ



アイアン



ウェッジ



パター

①ドライバー

ドライバーは1Wとも表記され、すべてのクラブの中で一番遠くにボールを飛ばせます。

最も飛距離があることからコースの第一打目に使用されます。

シャフト(柄の部分)が長く、コントロールの最も難しいクラブです。

ソール(ヘッドの裏面)に「1」もしくは「driver」と表記されています。

ロフト角(打つ面の傾斜角度)の数値が記載されているのも見分け方の一つです。

ドライバーのロフト角は通常8°～11°です。

レディースは11.5°～13°が一般的です。

長さ：平均45インチ ※1インチ=2.54cm



ドライバーのヘッド体積は、R&AおよびUSGAのルールにより上限が460cc（誤差許容範囲あり）と定められています。このルール内で、多くのメーカーが直進性や寛容性を高めるため、上限ギリギリの460ccのドライバーを製造しており、初心者から上級者まで、一般的には460ccの大型ヘッドが好まれます。

2006年頃から460ccが一般的になったためヘッドが大きいイコール新しいには結びつきません。400cc以下のヘッドに関してはさらに古いため需要はありません。

②フェアウェイウッド

ドライバーよりも一回り小さいクラブです。

主にソールに「3」、「4」、「5」、「7」等の1以外の数字が書いてあります。

3番ウッド→「スプーン」、4番ウッド→「バックスフィー」、5番ウッド→「クリーク」などそれぞれ呼び名があり、最近では9番、11番ウッドといったクラブもよく使われます。

長さ：平均43インチ



ポイント

①ドライバーと②フェアウェイウッドを総称して「ウッド」と呼びます。

ウッドは1番～13番まであり、4番以外は全て奇数になっています。

最近ではドライバーとウッドの間でミニドライバーというクラブもあります。

ドライバーとフェアウェイウッドの見分け方

ドライバーとフェアウェイウッドは見た目は似ていますが、厚さが違うので初心者の方でもすぐに違いが分かります。

ドライバーの方がヘッド部分、フェース(ボールを打つ面)部分が厚くなっています。

ドライバーのヘッド



フェアウェイウッドのヘッド



ドライバーのフェース



フェアウェイウッドのフェース



③ユーティリティ

ロングアイアンとフェアウェイウッドの中間的な存在です。

ソールに「U」と表記されています。

シャフトの長さはロングアイアン並みでフェアウェイウッドより短いです。ウッドタイプ・アイアンタイプ両方の中間タイプがあります。

別名としてハイブリッド・クラブとも呼ばれます。

見た目は細長くたらこ型です。

長さ：平均40インチ



④アイアン

ヘッドが鉄で出来ていることが名前の由来です。

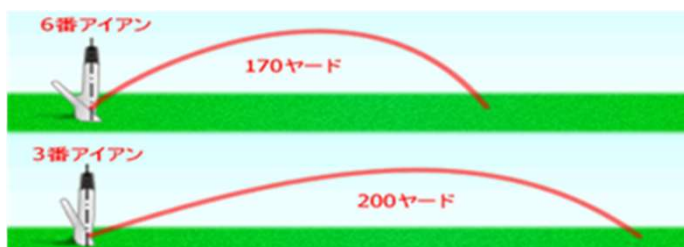
主にセカンドショット時に使用されます。

ソールに3～9の数字が表記されています。※1

番号の数字が大きくなるにつれてクラブの長さは0.5インチずつ短く、クラブの重さは重くなります。ロフト角は番号の数字が大きくなるにつれて3°～5°ずつ傾き、より高く飛ぶようになります。

ピンまでの残り距離に応じて使い分け、飛距離が出るのはロング・アイアン(3～5番)、中間的な距離用のものはミドル・アイアン(6～7番)、近距離はショートアイアン(8～9)です。シャフトはスチール製とカーボンに大別されます。

長さ：平均38インチ



アイアンは大きく「マッスルバック」と「キャビティ」の2つに分かれ、重心の高さ、フェースにおけるスイートスポット(芯。当たると飛ぶ)の広さが異なります。また、この2つの間に属する「中空」という種類もあります。

マッスルバック

- ・重心の位置が高いためボールを上げるのが難しい
 - ・スイートスポットが狭いためボールを芯に当てるのが難しい
- しっかり当たれば思い通り飛ぶので狙いは定めやすく、上級者・プロ向けのものです。

キャビティ

- ・重心の位置が低いためボールが上がりやすい
 - ・フェース自体が広い＝スイートスポットも広い
ボールを当てるのが簡単な上に芯に当たりやすくよく飛ぶ
- 初心者向けで今の主流となっているタイプです。

これらはバックフェースに空洞のようなものがあるかどうかで見分けることができます。マッスルバックはのっぺりしていて、バックフェースに空洞のようなものはありません。キャビティはマッスルバックに比べて深い空洞があります。また、重量を周辺に配分することによってスイートスポットを広くすることに成功しました。



マッスルバックのバックフェース



キャビティのバックフェース

⑤ウェッジ

アプローチショットなど比較的近距離のショットに使われるアイアンです。

PW(ピッチング・ウェッジ)、AW(アプローチ・ウェッジ)、SW(サンド・ウェッジ)、LW(ロブ・ウェッジ)と種類があり、ソールに英字で「P」、「A」、「S」、

「L」と表記されています(Wも一緒に表記される場合もあります)。

ロフト角で表記されているものは単品で商品化できます
長さ：平均35インチ



⑥パター

グリーン上でボールを動かしてカップ(ホール)に入れるためのクラブ

長さ：平均33インチ



裏部分にメーカー名が表記されているものがほとんどです



パターには様々なスタイル・タイプがありますが、ヘッドの形状によって大きく5種類に分けられます。



①ブレード・タイプ ②ピン・タイプ ③マレット・タイプ ④ネオ・マレットタイプ ⑤新タイプ(名称なし)

パターには様々なスタイル・タイプがありますが、ヘッドの形状によって大きく5種類に分けられます。

最近では④ネオ・マレットタイプが最もよく使われていますが、中間的なデザインのパター(例えば、エル字マレットやかまぼこ型のピン・パター)やどのタイプにも属さないような⑤新タイプのパターも見られ、従来の概念では分類に困ってしまうようなものがあります。

また、最近では中尺(38～45インチ)や長尺(45～48インチ)のパターを使う人も増えてきており、極めて多種多様に市場には出回っています。

🔄ポイント

クラブの査定で一番確認すべき項目は年式です。毎年新しいモデルが誕生するため経過年数毎に価格が変わっていきます。特にウッド系クラブは価格の変動が大きいです。アイアンやパターは価格の推移が緩やかになります。型落ちモデルでも性能が大幅に落ちることは少ないためです。

2-4.代表的なメーカー

メーカー名はヘッドソール部に記載してあることが多いです。
モデル名はドライバー系ならソール、アイアンならバックフェースに記載があります。

メーカー	読み方	国	
TaylorMade	テーラーメイド	アメリカ	アディダス傘下から現在は韓国のセントロイド社。 世界シェア第4位
Callaway	キャロウェイ	アメリカ	クラブ、ボール、ウェアまで手掛ける世界トップブランド 世界シェア第1位
Ping	ピン	アメリカ	他社に先駆けフィッティングシステムを導入した。 世界シェア第5位
BRIDGESTONE	ブリジストン	日本	世界トップクラスの技術力を背景とした、高機能なボール開発力と「接点の科学」に基づいたクラブ設計
DUNLOP	ダンロップ	日本	日本市場においてトップクラスの支持を誇る。 世界シェア第3位
Titleist	タイトリスト	アメリカ	世界No.1のゴルフボールメーカー 世界シェア第2位
本間ゴルフ	ホンマ	日本	日本の老舗メーカー。酒田工場での“匠”と呼ばれる職人によるクラブ作り
MIZUNO	ミズノ	日本	熟練の職人技と最先端技術を融合させた世界屈指のアイアン技術

ポイント

メーカーごとにコンセプトや強み、得意なクラブの種類が異なります。
ブランド特性を理解し、各メーカーの主要モデルや特徴を把握しておきましょう。